

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

|                                                        |         |                 |                                                           |        |                                                |                                |
|--------------------------------------------------------|---------|-----------------|-----------------------------------------------------------|--------|------------------------------------------------|--------------------------------|
| 学 科                                                    | スポーツ科学科 |                 | 科 目 区 分                                                   | 専門基礎分野 | 授業の方法                                          | 講義                             |
| 科 目 名                                                  | 機能解剖学Ⅰ  |                 | 必修/選択の別                                                   | 必修     | 授業時数(単位数)                                      | 30 (2) 時間(単位)                  |
| 対 象 学 年                                                | 1年生     |                 | 学期及び曜時限                                                   | 前期     | 教室名                                            | 401教室                          |
| 担 当 教 員                                                | 山下 浩平   | 実務経験と<br>その関連資格 |                                                           |        |                                                |                                |
| 《授業科目における学習内容》                                         |         |                 |                                                           |        |                                                |                                |
| 各関節の解剖及び運動について、関節の構造、各運動方向と筋の作用について実技を交えて講義する。         |         |                 |                                                           |        |                                                |                                |
| 《成績評価の方法と基準》                                           |         |                 |                                                           |        |                                                |                                |
| 1. 期末レポート:70%<br>2. 授業内課題:20%<br>3. グループワーク中の態度・発表:10% |         |                 |                                                           |        |                                                |                                |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》                                      |         |                 |                                                           |        |                                                |                                |
| 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第1章「運動器の解剖と機能」                     |         |                 |                                                           |        |                                                |                                |
| 《授業外における学習方法》                                          |         |                 |                                                           |        |                                                |                                |
| 次週の内容を教科書で読み込み、読めない漢字を調べておくこと。                         |         |                 |                                                           |        |                                                |                                |
| 《履修に当たっての留意点》                                          |         |                 |                                                           |        |                                                |                                |
| 全ての基礎となる人体の構造のうち、運動器系の知識を体得すること。                       |         |                 |                                                           |        |                                                |                                |
| 授業の方法                                                  |         | 内 容             |                                                           |        | 使用教材                                           | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容          |
| 第1回                                                    | 講義形式    | 授業を通じての到達目標     | 解剖学の導入を理解し、解剖学に慣れる                                        |        | 公認アスレティックトレーナー養成<br>テキスト第2章<br>「運動器の解剖と<br>機能」 | 特になし                           |
|                                                        |         | 各コマにおける授業予定     | イントロダクション 体表の区分、位置、方向用語(体表解剖)(専門科目)<br>運動の表し方(専門科目) 細胞、組織 |        |                                                |                                |
| 第2回                                                    | 講義形式    | 授業を通じての到達目標     | 運動器の基礎である骨と、それにより構成される関節を理解する                             |        | 公認アスレティックトレーナー養成<br>テキスト第2章<br>「運動器の解剖と<br>機能」 | 前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に) |
|                                                        |         | 各コマにおける授業予定     | 運動器の構造と機能 骨(専門科目) 骨の発生と成長<br>運動器の構造と機能 関節(専門科目)           |        |                                                |                                |
| 第3回                                                    | 講義形式    | 授業を通じての到達目標     | 筋の構造と働きを理解する                                              |        | 公認アスレティックトレーナー養成<br>テキスト第2章<br>「運動器の解剖と<br>機能」 | 前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に) |
|                                                        |         | 各コマにおける授業予定     | 運動器の構造と機能 筋(専門科目)                                         |        |                                                |                                |
| 第4回                                                    | 講義形式    | 授業を通じての到達目標     | 血管と神経の構造と働きを理解する                                          |        | 公認アスレティックトレーナー養成<br>テキスト第2章<br>「運動器の解剖と<br>機能」 | 前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に) |
|                                                        |         | 各コマにおける授業予定     | 運動器の構造と機能 血管(専門科目) 運動器の構造と機能 神経(専門科目)                     |        |                                                |                                |
| 第5回                                                    | 講義形式    | 授業を通じての到達目標     | 頸椎の構造を理解する                                                |        | 公認アスレティックトレーナー養成<br>テキスト第2章<br>「運動器の解剖と<br>機能」 | 前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に) |
|                                                        |         | 各コマにおける授業予定     | 脊柱の解剖 頸椎の解剖                                               |        |                                                |                                |

| 授業の方法 |      | 内 容         |                                     | 使用教材                                   | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容          |
|-------|------|-------------|-------------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------|
| 第6回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 頸椎以外の脊中と胸郭・骨盤の構造を理解する               | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章<br>「運動器の解剖と機能」 | 前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に) |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 胸椎と胸郭の解剖 腰椎、仙椎、骨盤の解剖                |                                        |                                |
| 第7回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 頸椎の関節とその運動を理解する                     | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章<br>「運動器の解剖と機能」 | 前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に) |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 脊柱の運動(専門科目)<br>頸椎の運動(専門科目)          |                                        |                                |
| 第8回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 胸郭・骨盤周辺の運動を理解する                     | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章<br>「運動器の解剖と機能」 | 前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に) |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 胸椎と胸郭の運動(専門科目)<br>腰椎、仙椎、骨盤の運動(専門科目) |                                        |                                |
| 第9回   | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 肩甲骨・鎖骨・上腕骨の解剖を理解する                  | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章<br>「運動器の解剖と機能」 | 前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に) |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 上肢帯の解剖<br>肩関節の解剖                    |                                        |                                |
| 第10回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 肩鎖関節・胸鎖関節・肩甲胸郭関節の運動を理解する            | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章<br>「運動器の解剖と機能」 | 前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に) |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 上肢帯の運動(専門科目) 肩関節の運動(専門科目)           |                                        |                                |
| 第11回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 肩甲上腕関節の運動を理解する                      | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章<br>「運動器の解剖と機能」 | 前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に) |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 上肢帯の運動(専門科目) 肩関節の運動(専門科目)           |                                        |                                |
| 第12回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 腕尺関節・腕橈関節・上橈尺関節・橈骨手根関節の構造を理解する      | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章<br>「運動器の解剖と機能」 | 前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に) |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 肘関節の解剖 手関節、手の解剖                     |                                        |                                |
| 第13回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 肘関節・手関節の運動を理解する                     | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章<br>「運動器の解剖と機能」 | 前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に) |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 肘関節の運動(専門科目) 手関節、手の運動(専門科目)         |                                        |                                |
| 第14回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 肘関節・手関節の運動を理解する                     | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章<br>「運動器の解剖と機能」 | 前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に) |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 肘関節の運動(専門科目) 手関節、手の運動(専門科目)         |                                        |                                |
| 第15回  | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 腸骨・恥骨・坐骨・その他周辺解剖を理解する               | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト第2章<br>「運動器の解剖と機能」 | 前週の復習(配付プリント・教科書アンダーライン箇所を中心に) |
|       |      | 各コマにおける授業予定 | 股関節の解剖                              |                                        |                                |